

2023年度 千住学部時間割

科目名称	教育史(中・高)
授業コード	BN154
英語名称	
学期	2023年度後期
単位	2.0
担当教員	本多 みどり (教育人間科学部)
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	教育史を学ぶ意義は、単に過去を振り返るだけではなく、先人の知恵から学び、現代の教育課題に対する処方箋を導くための基礎をつくることにある。本講義においては、前半でわが国の教育の歴史を概観し、教育の目的の変遷をたどる。また、西洋の代表的な教育理論について理解を深め、教育学の基礎固めを行う。後半からは、教育の目的を達成するためにこれまでどのような教育方法、制度が検討されてきたのかについて、具体的にテーマを絞って議論を深めていく予定である。
科目に関連する実務経験と授業への活用	中等教育段階で学ぶ世界史の内容に十分配慮して、講義を行う。中等教育に従事した経験を生かし、中等教育のカリキュラム・学習指導要領に配慮し、講義の内容・バランスを整えるものとする。
到達目標	<p>本学のディプロマ・ポリシーに則って、次のような知識・態度・能力の獲得を目指す。</p> <p>【知識・理解】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 古代から近代までの教育の歴史を、背景となる思想と歴史全般と関連させながら、大まかに理解する。 2. 現代教育の諸問題を、歴史的展望のもとで客観的に分析し、あるべき教育の姿を考察し、公平に描く能力を養う。 <p>【態度・能力】</p> <p>教育史の学習を通じて専門職としての教師の使命感、倫理観、規範意識を主体的に涵養する。</p> <p>本学のカリキュラム・ポリシーに即し、21世紀を生き抜く児童を育成するうえで不可欠な教育学の専門的知識の学修を通して、生徒を慈しむ温かい心と命の大切さを伝える力量を備えた人材を育成することを到達目標とする。教育の歴史を幅広く知ることによって、変化する社会に柔軟に対応する力と、倫理的観点から、新たな課題に取り組む力を涵養する。</p>
計画・内容	<p>第1回：オリエンテーション：授業全体の構成、目的、到達目標、評価の方法について解説 予習：教育に関して書かれた本を読む。 復習：授業内容の記録を読み返し内容の理解を深める。</p> <p>第2回：ギリシア人の教育：教養・吟味・対話 予習：古代の教育に関して書かれた本を読む。 復習：授業内容の記録を読み返し内容の理解を深める。</p> <p>第3回：日本型教養の特質：ギリシア的教養との比較 予習：日本の教育に関して書かれた本を読む。 復習：授業内容の記録を読み返し内容の理解を深める。</p> <p>第4回：ルネサンスと教育：人間中心主義の光と影 予習：ルネサンスに関して書かれた本を読む。 復習：授業内容の記録を読み返し内容の理解を深める。</p> <p>第5回：宗教改革と教育：宗教改革の意味 予習：宗教改革に関して書かれた本を読む。 復習：授業内容の記録を読み返し内容の理解を深める。</p> <p>第6回：宗教改革と教育：ルターとカテキスム 予習：宗教改革と教育に関して書かれた本を読む。 復習：授業内容の記録を読み返し内容の理解を深める。</p> <p>第7回：近代公教育の成立と発展 フランス革命とヨーロッパの激動 予習：近代の歴史に関して書かれた本を読む。 復習：授業内容の記録を読み返し内容の理解を深める。</p> <p>第8回：近代公教育の成立と発展 ナショナリズムと公教育の普及 予習：近代の歴史に関して書かれた本を読む。 復習：授業内容の記録を読み返し内容の理解を深める。</p>

2023年度 千住学部時間割

計画・内容	<p>第9回：主要な近代教育思想の俯瞰 予習：近代の教育の歴史に関して書かれた本を読む。 復習：授業内容の記録を読み返し内容の理解を深める。</p> <p>第10回：近代教育思想 コメニウス：絶望の果ての希望 予習：コメニウスに関して書かれた本を読む。 復習：授業内容の記録を読み返し内容の理解を深める。</p> <p>第11回：近代教育思想 ペスタロッチ：愛の心 予習：ペスタロッチに関して書かれた本を読む。 復習：授業内容の記録を読み返し内容の理解を深める。</p> <p>第12回：近代教育思想 フレーベル：遊び・子ども・創造的神性 予習：フレーベルに関して書かれた本を読む。 復習：授業内容の記録を読み返し内容の理解を深める。</p> <p>第13回：近代教育思想 デューイ：子ども中心主義 予習：デューイに関して書かれた本を読む。 復習：授業内容の記録を読み返し内容の理解を深める。</p> <p>第14回：学生による報告 前半 予習：さまざまな教育史を調べる。 復習：授業内容の記録を読み返し内容の理解を深める。</p> <p>第15回：学生による報告 後半 予習：さまざまな教育史を調べる。 復習：授業内容の記録を読み返し内容の理解を深める。</p>
授業の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書を参照しながら、資料を使用して講義を行う。 ・適宜、個人によるプレゼンテーションを課す。
能動的な学びの実施	講義で紹介された参考文献、自ら検索した文献等を能動的に読み深め、正しい批判能力を身につける。
授業時間外の学修	計画・内容に示した予習・復習を毎回行ってください。授業時間外学習(合計60時間程度)。各自が主体的に学習しましょう。
教科書・参考書	矢藤誠慈郎、北野幸子編『教育原理』中央法規出版、2016年。
成績評価方法と基準	各レポートの質30%、期末試験70%。定期試験については、小論文形式で行う。小論文の内容(情報圧縮の技術、構成力等)を見て総合的に判断し評価を行う。
課題等に対するフィードバック	・学生レポートに対しては、適宜、教員からコメントする。
オフィスアワー	Campus Squareで確認してください。
留意事項	
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	<p>新型コロナウイルス等への対応として、対面授業ではなく、課題提出型授業を行う場合があります。その場合は、毎回、課題を提出してもらいます。課題の提出がない場合、欠席として扱われます。毎回の課題の提出とその内容(60%)と、最終日(あるいは授業終盤の指定日)に行う試験としての課題の内容(40%)によって評価します。</p>